

# IFPWワシントン総会(第22回) に参加して

(一社)日本医薬品卸売業連合会  
会長 **鈴木 賢**



IFPW（国際医薬品卸連盟）総会が10月11日、12日の日程で米国ワシントンD.C.にある米国大統領トランプ氏が所有するトランプ インターナショナル ホテルで開催されました。日本からは同伴者を含め57名の方々に参加していただきました。開催国の米国をはじめ世界20か国から約200名の参加があり、熱心な討論が行われました。

今回の総会のテーマは「効率的な医療提供パートナー」とし、サブテーマは「医薬品卸売業者および流通業者の重要な役割」で、主に米国の医薬品卸企業、小売企業、製薬企業の幹部が著しく変化する米国の医薬品市場や、グローバルな経営戦略を紹介しました。

また、数多くのセッションにおいて、透明性の向上、医療費抑制への圧力、垂直統合や合併の拡大、アマゾンの医薬品市場への進出などが話題となり、スペシャリティ、ジェネリック、バイオシミラーの市場変化による影響や対応についての議論が熱心に行われました。また、政府のアクションが薬価や医薬品市場に与える影響についても話題になりました。

総会の締めくくりには、IFPWメンバーによるパ

ネルディスカッションが行われ、日本から中北馨介理事に参加いただきました。偽造医薬品が流通してしまったことや多くの災害が発生し災害大国になってしまったこと、薬剤費の削減は今後も続くこと、地域包括ケアや遠隔診療がこれからのビジネスチャンスになる可能性があることなどについて紹介していただきました。

また、総会に先立ち10日にはIFPW理事会が開催され、次期会長に就任することになりました。

閉会時に、次期会長としての挨拶や加藤前厚生労働大臣からのメッセージをいただいて作成した東京総会プロモーションビデオを上映させていただきました。

2020年10月の東京総会開催まで2年となりました。すでに卸連合会の中に準備委員会を設置し、東京総会の準備をすすめているところです。総会の成功に向け、是非皆様のお力をお貸しいただけますようお願い申し上げます。

最後に、多くの会員の皆様に参加していただき、今大会が成功裏に終わったことに対しまして心より感謝を申し上げます。